

計画事業番号	00529	事務事業名	季節労働者通年雇用促進支援事業	担当部署	経済部商工業振興課	電話	4614
--------	-------	-------	-----------------	------	-----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	通年雇用促進支援事業実施要領(厚生労働省)			
事務事業開始年度	平成19年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 4 章)	活気ある産業のまち
	(第 6 節)	労働環境の整備
	(施策 1)	就業機会の拡大と安定化
2 対 象	北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会	
3 目的と内容	市内の季節労働者の通年雇用化を促進支援するための各種事業を実施する北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会に負担金を支出する。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	市を含む関係6団体で構成される「北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会」を設置し、各種の通年雇用化を促進するための事業を実施。 ※事業費の負担割合:「①協議会自らが提案し実施する事業」、「②職場体験実習に係る事業」については、国委託費で実施。「③地域自らが実施する取組事業」については、市・道の負担金で実施。(市・道の負担金額は国委託事業の管理費の1割以上が条件)
	2 9 年 度	昨年度と同様に補助金を交付する。 市を含む関係6団体で構成される「北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会」を設置し、各種の通年雇用化を促進するための事業を実施。 ※事業費の負担割合:「①協議会自らが提案し実施する事業」、「②職場体験実習に係る事業」については、国委託費で実施。「③地域自らが実施する取組事業」については、市・道の負担金で実施。(国委託事業の管理費の1割以上が条件)

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
通年雇用人材育成・求人開拓・セミナーの開催や職場体験実習などの各種事業に取り組む北広島市通年雇用促進支援協議会の運営及び市負担金の支出	・人材育成事業参加者:15人 ・求人開拓:363社 ・事業所向けセミナー参加企業:26社 ・職業相談会参加者:14人 ・職場体験実習参加者:1社1人 ・通年雇用化数:72人 ・市負担金:125,682円	通年雇用人材育成事業・求人開拓・セミナーの開催や職場体験実習などの各種事業に取り組む北広島市通年雇用促進支援協議会の運営及び市負担金の支出	通年雇用人材育成事業・求人開拓・セミナーの開催や職場体験実習などの各種事業に取り組む北広島市通年雇用促進支援協議会の運営及び市負担金の支出	通年雇用人材育成事業・求人開拓・セミナーの開催や職場体験実習などの各種事業に取り組む北広島市通年雇用促進支援協議会の運営及び市負担金の支出

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		126	395	395	395		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	126	395	395	395	
	① 合計	126	395	395	395		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17
③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
④ =②×③		1,428	0	1,428	0	1,428	0
総事業費①+④		1,554	1,823	1,823	1,823		

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①資格取得者数	目標値	7	7	7	7
		実績値	2			
	②季節労働者数	目標値	490	440	390	340
		実績値	491			
③通年雇用化数	目標値	80	70	70	70	
	実績値	72				
④	目標値					
成果指標	① 通年雇用化割合 【通年雇用化数÷季節労働者数】	目標値	16.3	15.9	17.9	20.5
		実績値	14.6			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	国が行っていた雇用保険特例一時金の縮小等に代わる季節労働者支援策として実施する事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	平成19年度に事業を開始して以来、継続して季節労働者のニーズに合わせた事業を行っているが、季節労働者数の減少により、事業成果が停滞傾向にある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	市内季節労働者及び市内事業所に、リーフレット等を用いて本事業の周知を行い、様々な事業を行ってきたが、季節労働者数が減少していることから成果の向上は難しい。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	協議会の財源は、国、道、市の財源割合が定められていることから、極端なコスト削減を行うことが難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。